

〈精神看護委員会活動報告〉

令和5年度より新しく精神看護委員会が設置されました。増える精神分野の訪問看護の交流や質の向上を目指して、各ブロックからのフレッシュな委員さんがどのような活動をしていこうかと話し合いを重ね、令和6年5月18日に第1回精神看護研修会を企画、開催しました。

記念すべき第1回精神看護研修会は、31名の参加者と6名の委員、4名の理事が参加して熊本県医師会館2階大ホールで開催されました。テーマは「精神科訪問看護について、みんなで語り合いましょう」。まず、木村代表から「悩みながら仕事をしている皆さんが悩みを語り合い共有し知恵をもらって」とエールを頂きました。第一部としてリエゾン訪問看護の古谷宏幸講師による「GAF尺度を理解して使いこなそう」の講義があり、GAF尺度の基本や判断に迷った時の考え方などを教授いただきました。第二部のグループワークでは、いつも現場で頑張っている皆さんが困っていること等を出し合い、電話対応や家族への対応、病院との連携などの課題について活発に話し合い、最後に発表で共有、古谷講師や木村代表から助言をいただき閉会となりました。

統合失調症から発達障害、犯罪関連など非常に多岐にわたる精神看護のニーズに、地域・在宅看護の視点で応えられるように、この繋がりを大切に支え合える活動を続けていきたいと思えます。

報告：精神看護委員会担当理事 坂田百合野